

テーマ③活かに溢れるまち 「まちに賑わいを生むビジネス企画」

横須賀市の魅力をスマートな移動で引き出し、域内外の人が横須賀に訪問・滞在したくなるビジネス企画を募集します。

背景と課題

横須賀の観光資源

横須賀市街には記念艦三笠があり、その近くの乗船場から東京湾で唯一の自然島である猿島にわたることができます。観音崎に向かう途上の横須賀美術館や相模湾側の公園「ソレイユの丘」には多くの観光客が訪れています。

「観光立市よこすか」の取組

横須賀市は、現在の観光客数785万人、観光消費額386億円から2025年に1000万人、636億円にする観光立市推進アクションプランを進めています。市内全体を軍港資料館として捉えたルートミュージアムの構築を進めており、地域資源間の周遊ルートづくりに取り組んでいます。

観光推進の課題

横須賀市街のある東京湾側に集まる観光客を、鉄道路線のない相模湾側まで周遊してもらうことが課題です。県内からに次いで米国からの観光客も多いのが特徴で、国際対応も課題の一つです。

【参考資料】

- ・横須賀市観光立市推進アクションプラン（平成29年2月）
<http://www.yrp.co.jp/sumamobi/report/20180712/doc4-1.pdf>

ビジネス化のヒント

横須賀市の魅力をスマートな移動で引き出し、域内外の人間が横須賀に訪問・滞在したくなるビジネス企画を募集します。

交流人口や関係人口の拡大はまちの賑わいを生み、地方創生を目指す日本社会に先行し、世界的なモデルとなるものとして期待します。

◆さまざまな交通で観光を楽しく

徒歩による街歩きやサイクリング、マイカーや観光バス、路線バスや電車等の公共交通、新しい観光交通まで、ICTで観光が楽しくなり、周遊や再訪を促す交通が求められています。

◆まちめぐり、食・体験・買い物・宿泊の情報サービス

位置や移動の情報を活用するICTでまちめぐりを楽しくし、食や体験、買い物や宿泊などの魅力の提供と利用を結ぶ情報サービスが求められています。

◆観光や交通の多言語化

観光のための交通や、まちめぐり、食や体験、買い物や宿泊などの情報を多言語化して、世界中の誰もが訪問したくなるサービスが求められています。